

令和八年度入学者選抜試験問題（教育文化学部・地域文化学科）

小論文

私費外国人留学生入試

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見えてはいけません。
- 二 この問題冊子は、三ページあります。解答用紙は一枚あります。問題は二題あります。二題すべてに解答しなさい。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

本文省略

本文省略

竹内洋著 『教養主義の没落 変わりゆくエリート学生文化』(中央公論新社、二〇〇三年) より一部改変

注一 旧制高校 明治二十七年（一八九四）の高等学校令の公布から、昭和二十三年（一九四八）に学校教育法による新制高等学校が発足するまでの高等教育機関。帝国大学への進学を目的とした男子への予備教育を行った。現在の大学における、一、二年生を対象とした教養教育に相当する。第一高等学校（本文では一高）などはナンバースクールと呼ばれた。

注二 『三太郎の日記』 哲学者阿部次郎による随筆評論集。青田三太郎を筆者になぞらえて、青年の精神的、心理的な生活を論じている。大正三年（一九一四）に刊行され、高度経済成長期頃まで学生の必読書であった。

問一 傍線部について、著者の言う「キョウヨウ」とはどのようなものか。「教養」と比較しつつ、本文の内容に即して二〇〇字以内で説明しなさい。

問二 著者の見解に対して、現代社会において必要な教養とはどのようなものであり、なぜ必要であると考えるか。あなたの考えを六〇〇字以内で論じなさい。